

I .業績概要

2020年度決算のポイント

主要計数計画・実績

	2020年3月末実績	2021年3月末実績	中計最終年度 2023年3月末計画
親会社株主帰属利益 (連結当期純利益)	203億円	168億円	200億円
ROE(株主資本ベース)	4.58%	3.68%	4%以上
OHR	68.91%	65.45%	60%台
自己資本比率	11.02%	11.24%	(計画期間中)10%以上

収益

		(前年度比)	(当初業績予想比)
・親会社株主に帰属する当期純利益(連結)	168億円	(△35億円)	(+18億円)
・当期純利益(単体)	148億円	(△42億円)	(+13億円)

預貸金

		(前年度比)
・預金+NCD残高	8兆7,169億円	(+6,902億円)
個人	5兆2,649億円	(+3,877億円)
法人	2兆6,967億円	(+5,129億円)
金融・公金	7,552億円	(△2,105億円)
・貸出金残高	6兆692億円	(+2,407億円)
うち中小企業等貸出	4兆137億円	(+2,283億円)

2. 2020年度決算概要

【連結】 (単位:億円)

前年度比

	19年度	20年度	前年度比	業績予想比 (11月発表)
業務粗利益	862	887	25	
資金利益	690	725	35	
役務取引等利益	118	129	11	
その他業務利益	53	32	△21	
うち国債等債券損益	36	7	△29	
経費	583	569	△14	
実質業務純益	279	318	39	
一般貸倒引当金繰入額 (A)	△3	20	23	
業務純益	282	298	16	
臨時損益	9	△60	△69	
不良債権処理額 (B)	20	65	45	
その他	30	5	△25	
うち株式等関係損益	13	14	1	
経常利益	292	237	△55	24
特別損益	△5	△7	△2	
親会社株主に帰属する当期純利益	203	168	△35	18
信用コスト (A)+(B)	17	85	68	

- 【増益要因】
- ・国内貸出金利息の増加 (+11億円)
 - ・株式配当収入の増加 (+29億円)
 - ・役務取引等利益の増加 (+11億円)
 - ・経費の削減 (△14億円)

- 【減益要因】
- ・国債等債券損益の減少 (△29億円)
 - ・信用コストの増加 (+68億円)

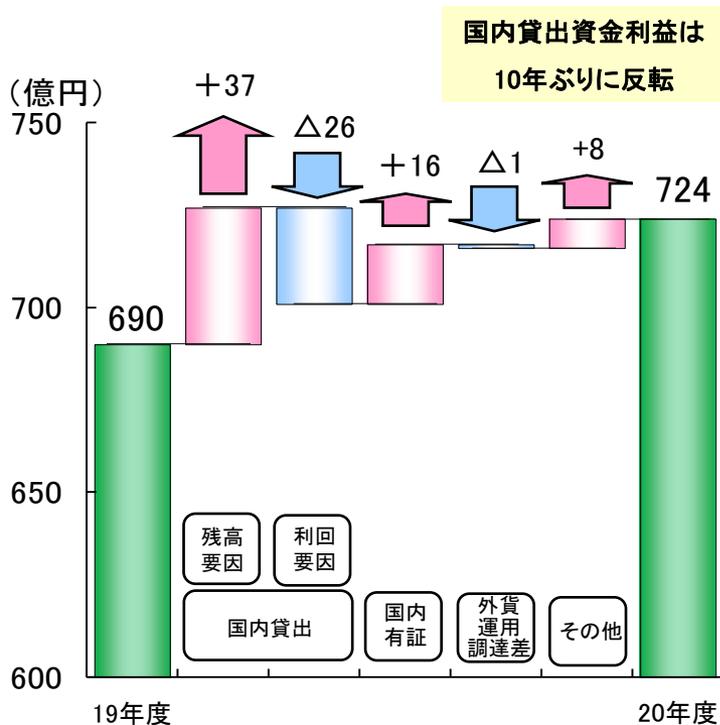
【単体】

業績予想比

業務粗利益	812	835	23	25
経常利益	266	206	△60	17
当期純利益	191	148	△42	13

- ・連結の純利益は18億円の上振れ

資金利益の増減要因(単体)

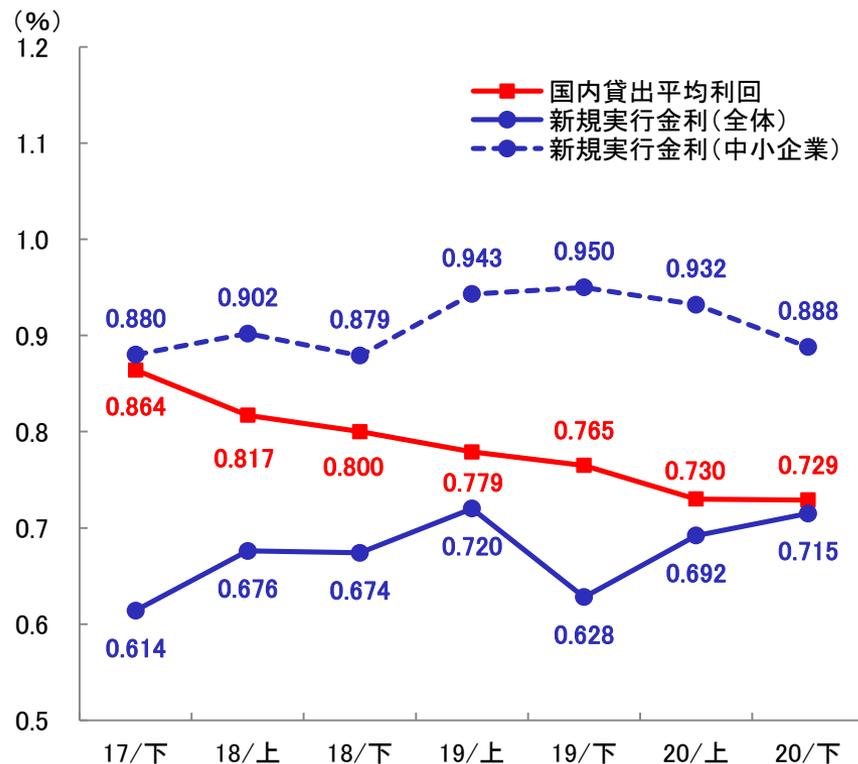


<国内貸出利息増減額の推移>

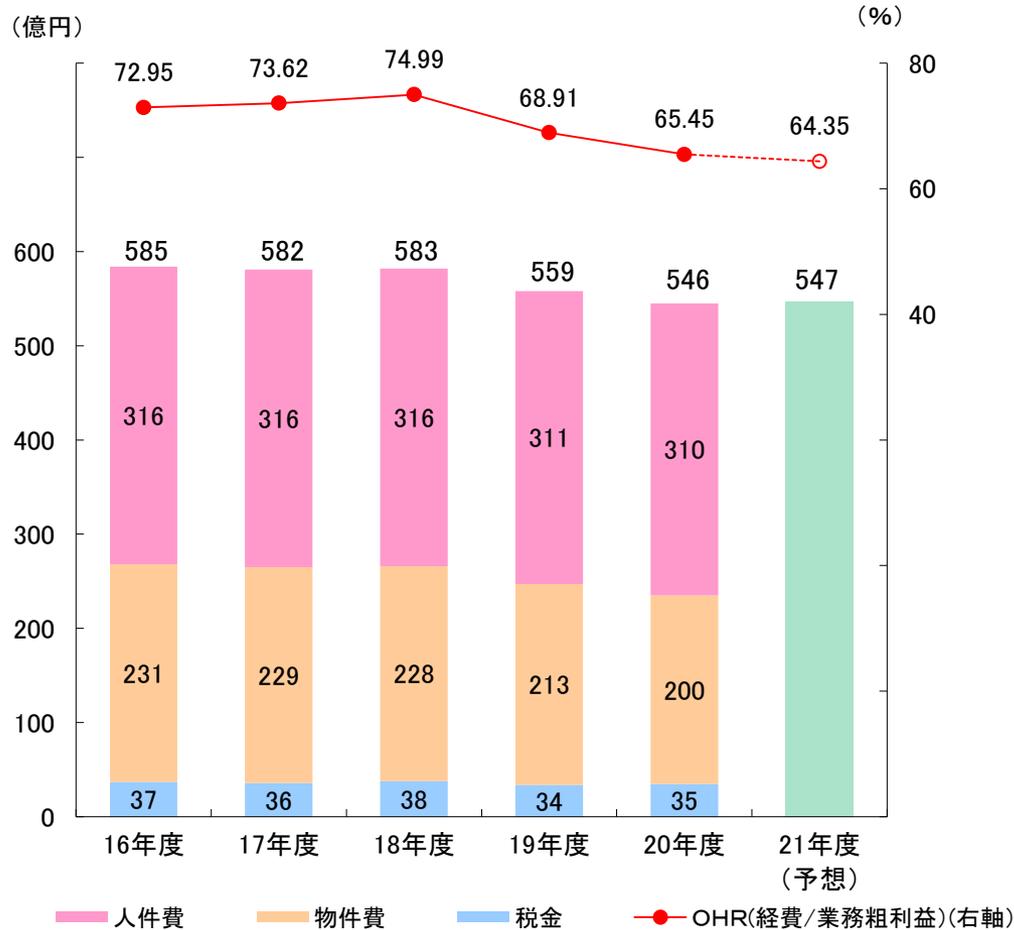
(単位: 億円)

	18年度	19年度	20年度
増減額	△ 10	△ 5	11
残高要因	26	14	37
利回要因	△ 36	△ 19	△ 26

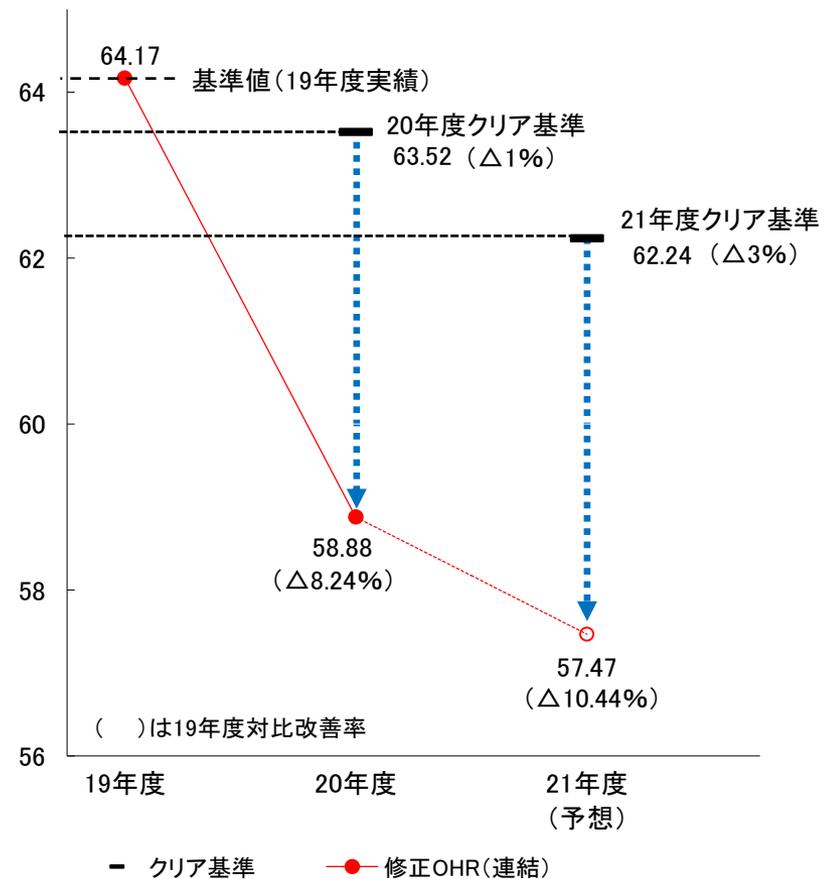
国内貸出金利の推移(単体)



経費とOHRの推移(単体)



修正OHR(連結)(※)の推移



(※)日本銀行「地域金融強化のための特別当座預金制度」に基づくOHR(連結)

$$= \frac{\text{連結経費(減価償却費等を除く)}}{\text{連結業務粗利益(国債等債券売却損益等を除く)}} \times 100(\%)$$

5. 信用コスト・開示債権の状況

信用コストの内訳(単体)

(単位: 億円)

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度 (予想)
個別貸倒引当金純繰入額	△0	0	0	20	14	63	70
新規不良債権の発生に伴う処理額	16	17	10	30	28	74	
回収等による取崩し	△ 14	△ 9	△ 8	△ 8	△ 13	△ 9	
ランクアップによる取崩し	△ 3	△ 8	△ 3	△ 2	△ 0	△ 2	
不動産担保価値下落に伴う処理額等	1	0	1	0	△ 0	0	
貸出金償却	—	0	1	—	0	—	0
貸出債権売却損	0	0	0	1	0	1	0
その他	5	1	0	2	4	2	3
不良債権処理額 ①	5	2	1	24	19	66	73
一般貸倒引当金純繰入額 ②	△ 9	△ 10	△ 5	△ 1	△ 2	21	17
信用コスト ①+②	△ 4	△ 7	△ 3	23	17	87	90

金融再生法開示債権・比率の推移(単体)



金融再生法開示債権の増減要因(単体)

(単位: 億円)

	20年度
金融再生法開示債権の増減	172
新規不良債権の発生による増加	308
オフバランス化等による減少	135
直接償却	8
バルクセール	14
実回収および業況改善	113

【連結】 (単位:億円)

	20年度	21年度(予想)	前年度比
親会社株主に帰属する当期純利益	168	170	2

【単体】

業務粗利益	835	850	15
資金利益	724	739	15
役務取引等利益	97	98	1
その他業務利益	13	13	0
うち国債等債券損益	7	3	△4
経費	546	547	1
実質業務純益	288	303	15
コア業務純益	281	300	19
除く投資信託解約損益	269	297	28
一般貸倒引当金繰入額 (A)	21	17	△4
業務純益	267	286	19
臨時損益	△61	△68	△7
不良債権処理額 (B)	66	73	7
その他	5	5	0
うち株式等関係損益	14	7	△7
経常利益	206	218	12
特別損益	△6	△8	△2
当期純利益	148	155	7
信用コスト (A) + (B)	87	90	3

純利益

与信関連費用は20年度と同水準を想定するが、連結の純利益は170億円、単体の純利益は155億円と、それぞれ20年度を上回る水準を見込む

実質業務純益

資金利益の増加を中心として、実質業務純益は増加を見込む